



公式プログラム
Official Program



2026 ALL JAPAN TRIAL CHAMPIONSHIP

全日本トライアル選手権 第5戦広島・三次灰塚大会

R5/9.13

灰塚ダムトライアルパーク

広島市安芸区

雨天決行・台風順延 2026/9.20



大会名誉会長
三次市長 福岡 誠志

広島・三次灰塚大会歓迎のご挨拶

「2026 年 MFJ 全日本トライアル選手権シリーズ第 5 戦 広島・三次灰塚大会」が、ここ三次市の灰塚ダムトライアルパークにおいて盛大に開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。

全国各地より、本大会に向けて日々研鑽を積まれてきたトップライダーの皆様、ならびにモータースポーツファンの皆様を、三次市へお迎えできますことはこの上ない喜びであります。

本市は、中国地方のほぼ中央に位置し、三つの川が交わる豊かな水系や美しい里山の風景が広がる自然あふれるまちです。秋から冬にかけて盆地を包み込む幻想的な「霧の海」や、特産のピオーネ、ワインなど多彩な食と文化の魅力があり、訪れる皆様を四季折々の彩りと心からのおもてなしでお迎えいたします。

今回会場となる「灰塚ダムトライアルパーク」は、本市の豊かな自然環境を活かしたコース設定が可能であり、この素晴らしい舞台で、大自然を相手に選手たちが技術と勇気を競い合うダイナミックな姿は、観戦される皆様や市民にとりましても、モータースポーツの魅力と感動に触れるまたとない機会となります。

選手の皆様におかれましては、積み重ねてこられた高度な技術と集中力、そして果敢なチャレンジ精神を遺憾なく発揮され、ベストを尽くした最高のパフォーマンスを見せていただけますことを期待しております。

本大会が、モータースポーツのさらなる健全な普及振興に寄与するとともに、選手の皆様にとりましても、実り多き素晴らしい大会となりますことを心からお祈りいたします。

結びに、本大会の開催にご尽力いただきました関係者の皆様に深く感謝と敬意の意を表しますとともに、本大会のご成功と選手の皆様のご活躍を祈念いたしまして、歓迎の挨拶とさせていただきます。

広島・三次灰塚大会開催によせて

皆さま、本日は「2026 年全日本トライアル選手権 第 5 戦 広島・三次灰塚大会」へお越しいただき、誠にありがとうございます！“スポーツのまち”、そして“子どもたちの夢を応援するまち”である三次市の灰塚ダムトライアルパークで、今年も国内最高峰の戦いを開催できますことを大変嬉しく思います。開催に際し多大なご尽力をいただいた三次市の皆さま、ご協賛各社、ならびに中国地区トライアル部会の皆さまに深く感謝申し上げます。

トライアルという競技は、ライダーとマシンが一体となり、高い技術と体力で難所（セクション）を乗り越えていくスポーツです。大きな岩や急な斜面を軽々と駆け上がっていく圧巻のパフォーマンスは、初めてご覧になる方にもきっと大きな感動をお届けできるはずです。挑戦し続けるライダーたちに、ぜひたくさんの拍手をお送りください。

本会場は観やすいように、観戦エリアは比較的平たんで周回するように設定されているほか、地元・三次市の美味しい特産品を楽しめる飲食ブースも充実しています。なお、まだ気温が高い時期となりますので、こまめな水分補給など熱中症には十分ご注意くださいのうえ、一日を存分にお楽しみください。

選手の皆さん、日頃の鍛錬の成果を遺憾なく発揮し、観客を魅了する素晴らしい走りを期待しています。最後に、本大会を支えてくださるすべての関係者の皆さまに重ねて御礼申し上げますとともに、本日が皆様にとって忘れられない最高の一日となることを祈念し、ご挨拶とさせていただきます。



一般財団法人
日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)
会長
鈴木 哲夫

タイムスケジュール

7:20 ~ オープントロフィー スタート
7:21 ~ 国際B級 スタート (1分おき2台)
8:00 ~ レディース スタート (1分おき1台)
8:05 ~ 国際A級 スタート (1分おき1台)
9:35 ~ 国際A級スーパー スタート (1分おき1台)

14:30 ~ 国際A級スーパー 上位10名によるスペシャルセッション (SS) スタート・2セッション
15:30 ~ 大会式典、表彰式

※タイムスケジュールは、天候その他の理由により変更される場合があります。

競技方式

国際A級スーパー …… 10 セクション×2 ラップ/4 時間 30 分 + SS×2 セクション
国際A級 …… 10 セクション×2 ラップ/5 時間
レディース …… 10 セクション×2 ラップ/5 時間
国際B級 …… 10 セクション×2 ラップ/5 時間
オープントロフィー …… 10 セクション×2 ラップ/5 時間

広島・三次灰塚大会審査委員会 実行役員 組織図

《大会役員》	車検長	《セクション審判員》
大会名誉会長 …… 福岡 誠志 (三次市長)	車検 …… 今田 好範	浅野 馨五 西野 英徳 伊藤 明彦
大会会長 …… 鈴木 哲夫 (MFJ 会長)	競技事務 …… 大森 理恵 垣原 悦子 寺曾 芹奈	池田 和孝 浅野 よし子 寺曾 秀明
《大会審査委員会》	山本 裕子 寺曾 伶奈	村竹 善則 坂田 潤一 藤江 雅之
審査委員長 …… 道上 耕司 (TR 委員)	ゲート・駐車場 池尻 和彦 坂上一士 横山 和弘	河内 亮 寺岡 和慶 佐藤 吉信
審査委員 …… 山田 淳二 西 英樹	苑田 修治 下江 一成 大山 茂	福山 賢治 向山 知成 滝浪 猛
《実行役員》	下江 一生 佐藤 卓也 国井 聖弘	清水 啓雅 岡田 徳朗 谷中 智志
競技監督 …… 山本 修三	放送 …… 河村 國夫	高田 良治 金山 一成 吉次 照男
セクション査察 …… 山本 昌也 (MSP)	MC …… 畠中 要輔	西岡 高志 木村 光夫 米澤 満夫
リザルトマネージャー …… 田中 昌秀 (MSP)	メディカル …… 新美 雅志	上田 光一 木村 常美 杉本 正志
進行長 …… 山本 修三 (兼 務)	大会事務局 …… 岩田 稔 (MSP) 平地 直樹 (MSP)	川野 郁也 松上 隆道 大島 前
進行・保安 …… 花田 慎治 山本 文雄 森原 宏幸	平野 真弓 (MSP)	中澤 純也 新宮 毅 丸岡 貴
津森 伸吾	MFJ 事務局 …… 保田 奈那	

■ 後援各社 (順不同・敬称略)

三次市、三次商工会議所、一般社団法人三次観光推進機構、中国新聞社

■ ご協賛各社 (順不同・敬称略)

株式会社ダンロップタイヤ/株式会社ミタニ/有限会社エトスデザイン/ヤマハ発動機販売株式会社/ヤマハ発動機株式会社/株式会社力造ばわあくらふと/シェルコジャパン & スコルパジャパン/井上ゴム工業株式会社/株式会社ヴィクトリー/ベータモータージャパン/株式会社トライボジャパン/株式会社ホンダモーターサイクルジャパン/広島みどり信用金庫/株式会社バイクハウスでらそ/三次貨物運送有限会社/ENEOS 有限会社上岡石油店/三次スズキ自動車株式会社/株式会社キョクトー NUTEC/君田交通有限会社/株式会社アイエスツール/Spray Design/有限会社甲山石材/三平商事有限会社セトウチペース

MFJ 公式インフォメーション、リザルト、レポートはこちらをご覧ください。

<https://mspro.jp/trj/>



IAS 国際A級スーパー

氏川政哉、3勝目なるか
群雄割拠の2026年
4人目の勝者は出るか

氏川政哉2連勝のあと、柴田暁、小川毅士が勝利。
シーズン4戦目にして3人の勝者が出る乱戦模様。
2026年シーズンは、いよいよ後半戦に突入する。

時代の節目が来たのだろうか。

電動マシンが全日本選手権トップカテゴリーで初めてチャンピオンを獲得、それまで20年間、4ストロークエンジンが握っていた覇権が崩れた。そして今年は、新チャンピオンが誕生する公算が高くなっている。

筆頭は、4戦2勝2位2回の氏川政哉だ。開幕2連勝は初めてではないが、ヤマハに乗っての開幕2連勝はこれが初めて。この勢いで勝ちまくるかとも思われたが、3勝目はおあずけとなっている。しかし、勝てない2戦の氏川は、その内容が興味深い。第3戦も第4戦も、氏川の調子は今一つ。表彰台もあやうい感じで試合の終盤を迎えた。ところが土壇場で大逆転。終わってみれば2戦連続2位獲得だ。

強いライダーには、強くあるための方程式がある。調子のいい時の勝利は当たり前。調子が悪く勝ちきれない時に、可能な限り高順位を得るかがカギになる。氏川は、ここまでの4戦で、それができた。後半4戦の氏川は、どんな戦いを見せてくれるだろうか。



第4戦の表彰台。2位の氏川政哉（左）は、負けとはいえ逆転2位獲得で上出来。小川毅士（中央）は自身3勝目。隣の3位小川友幸（右）とともに、これが今シーズン初表彰台。

氏川以外の今シーズンの勝利者は、柴田暁と小川毅士。柴田は優勝1回、2位1回、5位2回で、現在ランキング2位につけている。ようやくつかんだ初優勝だが、これが柴田の目標達成ではない。次は早い段階での2勝目が待たれるところだ。

小川毅士は自身3勝目。小川も初優勝までに時間がかかった一人、そして初勝利から2勝目までも10年以上の歳月を費やした。しかし3勝目は、2勝目から半年。勝利のペースが上がっている。しかも小川は今シーズンのここまで、表彰台が一回もなかった。ここから巻き返しだ。

毎回、勝利まであと一歩まで近づきながら、いまだ初勝利にたどりつけない



ヤマハでは初めての開幕2連勝を飾った氏川政哉。2勝、2位2回はほぼベストに近い戦績だ。



第3戦で、念願の初勝利を得た柴田暁。この1勝が起爆剤となるか。



あと一歩で勝ちを逃している武田呼人。武田が勝利をつかむ日も、そんなに速くはないはず。

いのが武田呼人。しかし今年の武田は、開幕3戦で連続表彰台と、戦い方に強さが備わってきている。現在のランキングは3位。その日は今大会でやって来るかもしれない。

現在ランキング5位につける小川友幸は、第4戦でようやく今シーズン初表彰台を獲得した。昨シーズンの大きなケガから今シーズン復帰、まだ本領発揮とはいかないが、毎戦着実にあるべき小川の姿に近づいている。本来の走りが見られるのも、間もなくだ。

第2戦で表彰台に乗った野崎史高は、ちょっと調子を崩している。されど勝ち方を知っている一人であり、この灰塚でも勝利の実績あり。今回だって、あなどれない。

ランキングポイントで、その野崎と1ポイント差で上位につけるのが、久岡孝二。今シーズンはまだ表彰台に乗っていないが、めきめきと力をつけて全日本の主役の仲間入りをしつつある。

小川友幸と同世代、同じ仲間として腕を磨いてきた田中善弘、試合中에서도笑顔を絶やさない武井誠也、去年のIAチャンピオンの平田貴裕、そしてルーキーの高橋寛冴。11名のライダーが、10人によるSS進出を目指し、そして3つしかない表彰台、ひとつしかない勝利を目指し、全身全霊をかける舞台。それが全日本選手権 IAS クラスだ。

IA 国際A級



黒山太陽（左）と宮澤陽斗（右）。共に若手だが、並べるとIAS 経験者の宮澤が大ベテランに見える。

LTR レディース



中川瑠菜（左）、寺澤心結（右上）、泉心愛莉（右下）。大学生、中学生、小学生のレディース・トリオ。

IB 国際B級



辻本雄河（左）、楠貴裕（右上）、上福浦明男（右下）。上福浦は125cc マシンに乗っている。

ポイントリーダー黒山太陽
追う宮澤陽斗、さらに――

4 戦が終わり、ここまでのランキング、トップに並ぶほとんどが元 IAS ライダーの面々。そんな中、第 3 戦で初優勝して現在ランキングトップに立ったのが若き黒山太陽。ライバルは手ごわい。しかし、いかに敵が強かろうと勝ち進んでいく必要がある。黒山の勢いに拍車がかかるか、あるいは宮澤陽斗を初めとする、元 IAS 勢が本領を発揮するか。

実は元 IAS 勢にも、IA 未勝利の者はけっこう多い。初勝利を目指す実力者がしのぎを削る激戦区が、IA クラス。ここまでの 4 戦では 4 人の勝利者が出た。誰が勝ってもおかしくない実力伯仲の戦力図が IA クラスの特徴だが、今年はその傾向がさらに加速している。

ヨーロッパ帰りの永久保圭、同い年の寺澤迪志、初め昇格ルーキーの面々などがどこまで実力を伸ばしてきたかも、注目していきたいポイントだ。

チャンピオン中川を追う
ローティーンの新勢力

世代交代というか、若返りがもっとも著しいのがこのレディースクラスではないだろうか。

女王、中川瑠菜は大学生で若手も若手だが、その中川を追うのが、中学生の寺澤心結。第 2 戦では中川を破って初優勝した。しかし中川も負けなし。ここまでの 4 戦、1 敗 3 勝で意地を見せている。

そしてもうひとり、第 4 戦でデビューしたのが泉心愛莉（みあり）。こちらはさらに若い小学生。まだお姉さんたちとの優勝争いには加われずにいるが、その時はきっとやって来る。今から応援し続けていると、きっとその時の感動は大きいはずだ。

そしてこのクラスに重要なキャラクターがもう一人。ソアレス米澤・ジェシカはブラジル生まれ。当然だけど、走り方やアプローチがちっと日本人離れしていたいへんに興味深い。

強い辻本雄河
地元勢の活躍にも期待

開幕 2 連勝を飾ったのが辻本だった。全戦でポイントを獲得するライダーが多くないこのクラスで、2 連勝は大きな成果となった。その後の 2 戦では勝利がないが、4 戦を終えて辻本のランキングポイントリードは 27 ポイントと、1 戦分以上のリードになっている。

辻本の他の勝利者は楠と上福浦。楠は元レディースチャンピオンの楠玲美のアシスタントを務めていたが、ここへきて成績急上昇だ。

上福浦は地元広島のリダー。大ベテランだ。地元ライダーとしては、ゼッケン 1 の林大作も優勝候補として注目したい。

第4 戦 宮崎・えびの大会（7/12）までのポイントランキング

IAS 国際A級スーパー

順位	ゼッケン	選手	マシン	チーム名	R1 愛知・岡崎		R2 もてぎ		R3 北海道・和寒		R4 宮崎・えびの		R4 までの 合計獲得 ポイント	R5 広島・三次灰塚		合計P
					順位	獲得ポイント	順位	獲得ポイント	順位	獲得ポイント	順位	獲得ポイント		順位	獲得ポイント	
1	2	氏川 政哉	ヤマハTY-E 3.0	YAMAHA FACTORY RACING TEAM	1	25	1	25	2	20	2	20	90			
2	5	柴田 暁	TRRS ONE RR	TEAM TRRS & NILS OIL	2	20	5	11	1	25	5	11	67			
3	7	武田 呼人	ホンダ RTL301RR	TEAM MITANI Honda	3	16	2	20	3	16	4	13	65			
4	3	小川 毅士	ベータ EVO 2T	Wise Beta Racing	4	13	4	13	7	9	1	25	60			
5	8	小川 友幸	ホンダ RTL301RR	TEAM MITANI Honda	6	10	7	9	5	11	3	16	46			
6	6	久岡 孝二	ホンダ RTL301RR	HRC クラブ MITANI	5	11	6	10	4	13	6	10	44			
7	4	野崎 史高	ヤマハTY-E 2.2	Team NOZAKI YAMALUBE YAMAHA	7	9	3	16	6	10	8	8	43			
8	9	田中 善弘	ホンダ RTL301RR	HRC クラブばわくらふと& HD 八尾	6	8	8	8	8	8	9	7	31			
9	10	武井 誠也	ベータ EVO 2T	FINE&SWM&BETA	9	7	9	7	9	7	7	9	30			
10	11	平田 貴裕	SCORPA SCF-300	SCORPA JAPAN & チームエクセル	10	6	10	6	12	6	10	6	24			
11	12	高橋 寛治	SHERCO STF	Sherco Japan	11	5	11	5	11	5	11	5	20			

IA 国際A級

順位	ゼッケン	選手	マシン	R1		R2		R3		R4		大会R4以降の ポイント 合計	R5 広島・三次灰塚	合計P
				順位	獲得P	順位	獲得P	順位	獲得P	順位	獲得P			
1	2	黒山 太陽	シェルコ	6	10	2	20	1	25	3	16	71		
2	7	宮澤 陽斗	ベータ	1	25	5	11	2	20	6	10	66		
3	10	平田 雅裕	スコルパ	2	20	4	13	3	16	15	1	50		
4	5	磯谷 玲	ベータ	3	16	3	16	7	9	7	9	50		
5	12	磯谷 郁	ベータ	4	13	7	9	4	13	5	11	46		
6	8	岡村 将敏	TRRS	7	9	11	5	5	11	4	13	38		
7	3	本多 元治	ホンダ	9	7	6	10	-	-	2	20	37		
8	13	永久保 圭	ベータ	5	11	10	6	6	10	9	7	34		
9	6	野本 佳章	ベータ	-	-	-	-	-	-	1	25	25		
10	9	浦山 瑞希	ホンダ	-	-	1	25	-	-	-	25			
11	02	寺澤 迪志	ベータ	11	5	12	4	8	8	12	4	21		
12	16	村田 慎示	ホンダ	15	1	9	7	-	-	8	8	16		
13	57	山崎 頌太	ベータ	10	6	8	8	-	-	-	-	14		
14	17	尾藤 正則	シェルコ	12	4	-	-	12	4	11	5	13		
15	14	中里 侑	TRRS	8	8	24	0	-	-	-	-	8		
16	43	徳丸 新伍	ホンダ	14	2	-	-	-	-	10	6	8		
17	29	神長 敏摩	シェルコ	16	0	16	0	9	7	17	0	7		
18	26	Chen wenmao	ホンダ	-	-	-	-	10	6	21	0	6		
19	25	村田 隼	ヴェルティゴ	19	0	15	1	11	5	18	0	6		
20	24	小谷 徹	ホンダ	-	-	13	3	15	1	14	2	6		
21	18	小野田 理智	シェルコ	-	-	-	-	-	-	13	3	3		
22	61	袋井 就介	EM	-	-	22	0	13	3	-	-	3		
23	20	小椋 陽	ホンダ	13	3	-	-	-	-	-	-	3		
24	46	佐伯 竜	ベータ	21	0	20	0	14	2	-	-	2		
25	22	鈴木 克敏	ホンダ	17	0	14	2	-	-	-	-	2		

2026 全日本トライアル選手権
開催スケジュール

R1	愛知・岡崎	4/12	キョウセイドライバード
R2	もてぎ（栃木）	5/31	モビリティリゾートもてぎ
R3	北海道・和寒	6/21	わっさむサーキット
R4	宮崎・えびの	7/12	えびの市矢岳高原トライアルコース
R5	広島・三次灰塚	9/13	灰塚ダムトライアルパーク
R6	宮城・SUGO	10/11	スポーツランド SUGO
R7	和歌山・湯浅	10/25	湯浅トライアルパーク
R8	City Trial Japan	11/29	平安神宮前 岡崎公園 京都府（IAS のみ）

ランキング表の作り方

第5戦 広島・三次灰塚大会の結果による「順位」と「獲得ポイント」を記入してください。第4戦（R4）までのポイントに加算することで、第5戦（R5）終了時点の合計ポイントが算出されます。この合計ポイントが多い順に、最新のランキングが決定します。

LTR レディース

順位	ゼッケン	選手	マシン	R1		R2		R3		R4		大会R4以降の ポイント 合計	R5 広島・三次灰塚	合計P
				順位	獲得P	順位	獲得P	順位	獲得P	順位	獲得P			
1	1	中川 瑠菜	ベータ	1	25	2	20	1	25	1	25	95		
2	4	寺澤 心結	ベータ	2	20	1	25	2	20	2	20	85		
3	9	ソアレス米澤	TRRS	-	-	3	16	3	16	3	16	48		
4	2	小玉 絵里加	TRRS	3	16	-	-	-	-	-	-	16		
5	11	泉 心愛莉	MECATECHNO	-	-	-	-	-	-	4	13	13		
6	8	清水 さやか	ホンダ	4	13	-	-	-	-	-	-	13		

IB 国際B級

順位	ゼッケン	選手	マシン	R1		R2		R3		R4		大会R4以降の ポイント 合計	R5 広島・三次灰塚	合計P
				順位	獲得P	順位	獲得P	順位	獲得P	順位	獲得P			
1	10	辻本 雄河	TRRS	1	25	1	25	10	6	2	20	76		
2	51	楠 貴裕	ホンダ	22	0	3	16	1	25	8	8	49		
3	24	岩間 隆介	ホンダ	4	13	2	20	16	0	3	16	49		
4	19	上福浦 明男	ベータ	2	20	-	-	-	-	1	25	45		
5	18	河野 剛	TRRS	9	7	4	13	5	11	7	9	40		
6	1	林 大作	TRRS	3	16	-	-	3	16	9	7	39		
7	3	青山 宏	ホンダ	8	8	5	11	14	2	4	13	34		
8	30	米澤 健	ホンダ	28	0	11	5	2	20	14	2	27		
9	2	西村 健志	TRRS	11	5	18	0	-	-	6	10	15		
10	9	袋井 棕介	シェルコ	19	0	10	6	8	8	19	0	14		
11	21	八木 修身	TRRS	42	0	21	0	4	13	-	-	13		
12	119	笹原 智純	TRRS	-	-	-	-	-	-	5	11	11		
13	85	山田 敬典	ホンダ	5	11	-	-	-	-	-	-	11		
14	28	三好 一也	モンテッサ	6	10	-	-	-	-	15	1	11		
15	72	鈴木 颯馬	ベータ	39	0	15	1	6	10	21	0	11		
16	62	関田 志毅	ベータ	14	2	7	9	-	-	-	-	11		
17	83	鈴木 大空翔	ホンダ	35	0	12	4	9	7	24	0	11		
18	11	中村 雄樹	GASGAS	29	0	6	10	-	-	-	-	10		
19	87	岩見 秀一	GASGAS	26	0	-	-	7	9	-	-	9		
20	14	元古 裕一	ベータ	7	9	-	-	-	-	-	-	9		
21	4	大内 朋幸	ヴェルティゴ	-	-	8	8	-	-	-	-	8		
22	60	横森 一樹	ホンダ	-	-	9	7	-	-	-	-	7		
23	22	栗原 賢司	ホンダ	49	0	13	3	12	4	23	0	7		
24	40	後藤 研一	GASGAS	-	-	-	-	-	-	10	6	6		
25	15	梶山 政登	ホンダ	10	6	-	-	-	-	-	-	6		
26	120	浦中 信宏	ベータ	-	-	-	-	-	-	11	5	5		
27	26	渡辺 洋輔	GASGAS	-	-	-	-	11	5	-	-	5		
28	27	三好 弘祐	GASGAS	-	-	25	0	15	1	12	4	5		
29	82	斎江 知興	TRRS	12	4	-	-	-	-	-	-	4		
30	54	道上 耕司	ベータ	32	0	-	-	-	-	13	3	3		
31	69	高山 和広	TRRS	55	0	40	0	13	3	30	0	3		
32	88	高橋 大介	ホンダ	13	3	-	-	-	-	-	4	3		
33	31	斉藤 隆志	ホンダ	36	0	14	2	-	-	-	4	2		
34	20	辻本 龍司	ベータ	15	1	-	-	-	-	44	0	1		

全日本選手権では1位から15位までに、順位に応じたランキングポイントが与えられる。獲得ポイントを集計して、ランキング順位が決定するが、同点の場合、最上位成績のよい者が上位、さらに同順位の場合は、直近大会の成績がよい者が上位となる。最終ランキングは委員会で精査して決定、発表される。

順位により取得できるポイント

1位 25P／2位 20P／3位 16P／4位 13P／5位 11P／6位 10P／7位 9P／8位 8P
9位 7P／10位 6P／11位 5P／12位 4P／13位 3P／14位 2P／15位 1P

国際A級スーパー International A Super Class

2

氏川 政哉
Seiya UJIKAWA / YAMAHA



三重県四日市出身の23歳。自転車、TRGC、IB、IAとチャンピオン総なめにして2018年からIASを走っている。ここまでに9勝。2024年からヤマハTTY-Eに乗り、IASでのEV初勝利をあげた。2026年は開幕2連勝。

5

柴田 暁
Akira SHIBATA / TRRS



SS男の異名もとる、超人的走破力を発揮する元気いっぱい的大阪人。2026年開幕戦で2位入賞してシーズンをスタート、第3戦ではついに初優勝を得た37歳の注目株。イベントの主催にも積極的に取り組んでいる。

8

小川 友幸
Tomoyuki OGAWA / Honda



歴代最多のV14王者。デモにスクール、バイクによる災害支援、動画配信、イベント主催とに大活躍だが、昨年は負傷で大半が欠場、今季はカムバック戦となる。三重県四日市出身49歳。全日本勝利数は58勝。

3

小川 毅士
Tsuyoshi OGAWA / Beta



2025年は全日本2勝目、初のランキング3位と、39歳にして大きな成長実績を残した。そして今シーズン第4戦宮崎・えびの大会では自身3勝目をあげて上昇機運に乗る。茨城県オフロードパークSHIRAI管理人。

6

久岡 孝二
Koji HISAKA / Honda



2025年、初めて3位表彰台を獲得し、特徴たるスケールの大きなライディングを武器に、さらに上位を目指す。2016年IAチャンピオン。岐阜出身26歳。今年はHondaに乗り換えて4年目となる。

9

田中 善弘
Yoshihiro TANAKA / Honda



黒山健一、小川友幸といっしょに育った石川県の大ベテラン49歳。堂々トップ10に入り、今年もIASを走る権利を得た。IAでは2度のチャンピオンを獲得していて、IB時代には藤波貴久を破った実績もある。

4

野崎 史高
Fumitaka NOZAKI / YAMAHA



自転車世界選手権、2002 FIMジュニアカップ、全日本IAとタイトルを獲得。2024年は負傷で半分が欠場したが、2025年にはカムバック勝利を飾り、全日本勝利数を12勝とした。埼玉県小川町出身、42歳。

7

武田 呼人
Yohito TAKEDA / Honda



2019年IAチャンピオン。3年間のスペイン修業を経て全日本に復帰。2024年シーズンオフにひざの手術も受けたが、心機一転のHondaでの2年目。今シーズンは3連続表彰台と気を吐く三重県多気町出身の24歳。

10

武井 誠也
Masaya TAKEI / Beta



2018年IAチャンピオン。IAS昇格後はランキング10位以内を守り、SS常連の地位を固めつつある。現在までの最上位は7位。山梨出身の明るい29歳は、マシンを乗り換えて2年目、さらに上位を狙う。

11

平田 貴裕
Takahiro HIRATA / Scorpa



IASでの負傷からIAを2年走り、チャンピオンを獲得してIASに復帰を果たした。愛知県の37歳。2006年IBチャンピオン、2025年IAチャンピオン。兄の雅裕と入れ替わりでIASを走る権利を得た。

12

高橋 寛牙
Hiroki TAKAHASHI / Sherco

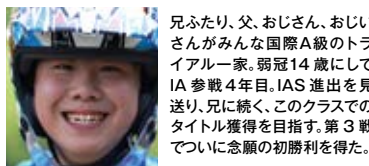


16歳でTRGC 2位、17歳でIB 3位、22歳のIAでは2勝をしながら惜しいところでタイトルを逃したが、無冠の帝王としてIASに挑戦。若いV1ワーカーがどこまで結果につながるか、楽しみ。神奈川県出身の23歳。

国際A級 International A Class

2

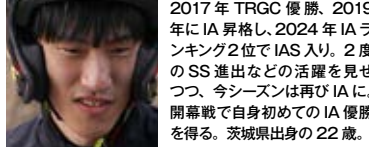
黒山 太陽
Tao KUROYAMA / Sherco



兄ふたり、父、おじさん、おじいさんがみんな国際A級のトライアル一家。弱冠14歳にしてIA参戦4年目。IAS進出を見送り、兄に続く、このクラスでのタイトル獲得を目指す。第3戦でついに念願の初勝利を得た。

7

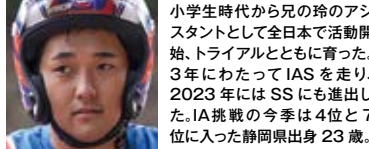
宮澤 陽斗
Haruto MIYAZAWA / Beta



2017年TRGC優勝、2019年にIA昇格し、2024年IAランキング2位でIAS入り。2度のSS進出などの活躍を見せてつ、今シーズンは再びIAに。開幕戦で自身初めてのIA優勝を得る。茨城県出身の22歳。

12

磯谷 郁
Kaoru ISOGAYA / Beta



小学生時代から兄の玲のアシスタントとして全日本で活動開始、トライアルとともに育った。3年にわたってIASを走り、2023年にはSSにも進出した。IA挑戦の今季は4位と7位に入った静岡県出身23歳。

レディース Ladies Trial Class

1

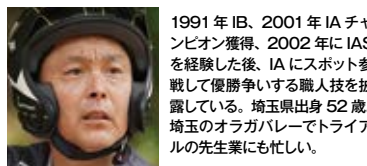
中川 瑠菜
Runa NAKAGAWA / Beta



2023年にIB昇格、2025年にレディースの王座を射止めた。愛知県出身の大学生は、2年連続のレディースチャンピオンを狙う。今シーズンもチャンピオン最右翼に位置づけられるのはまちがいない。

3

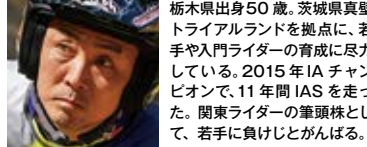
本多 元治
Motoharu HONDA / Honda



1991年IB、2001年IAチャンピオン獲得、2002年にIASを経験した後、IAにスポット参戦して優勝する職人技を披露している。埼玉県出身52歳。埼玉のオラガバレーでトライアルの先生業にも忙しい。

8

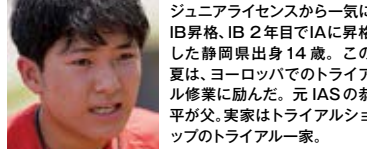
岡村 将敏
Masatoshi OKAMURA / TRRS



栃木県出身50歳。茨城県真壁トライアルランドを拠点に、若手や入門ライダーの育成に尽力している。2015年IAチャンピオンで、11年間IASを走った。関東ライダーの筆頭株として、若手に負けじとがんばる。

13

永久保 圭
Kei NAGAKUBO / Beta



ジュニアライセンスから一気にIB昇格、IB2年目でIAに昇格した静岡県出身14歳。この夏は、ヨーロッパでのトライアル修業に励んだ。元IASの泰平が父。実家はトライアルショップのトライアル一家。

5

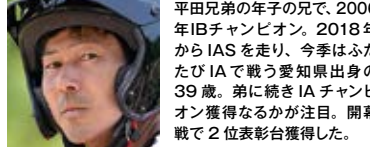
磯谷 玲
Akira ISOGAYA / Beta



9年間のIAS挑戦を経て、IAで新たな挑戦に挑む。毎戦トップ争いから入っている。そのトライアルスタイルは独特で楽しい。父、姉、弟とみんなライダーのトライアル一家。静岡で小学校の先生を務める30歳。

10

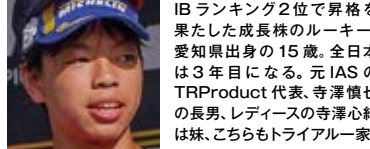
平田 雅裕
Masahiro HIRATA / Scorpa



平田兄弟の年子の兄で、2006年IBチャンピオン。2018年からIASを走り、今季はふたたびIAで戦う愛知県出身の39歳。弟に続きIAチャンピオン獲得なるかが注目。開幕戦で2位表彰台獲得した。

02

寺澤 迪志
Yushi TERAZAWA / Beta



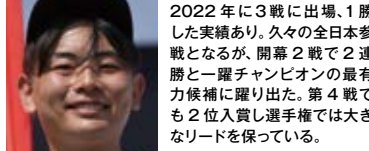
IBランキング2位で昇格を果たした成長株のルーキー、愛知県出身の15歳。全日本は3年目になる。元IASのTRProduct代表、寺澤慎也の長男、レディースの寺澤心結は妹、こちらもトライアル一家。

今大会は、33名が参加するIAクラス。チャンピオンシップの上位を勝ち抜くためには、華麗なテクニックを、常に安定して発揮する必要がある。ここまでの4戦で4名の勝利者が出るという、全日本一番の激戦区。元IASの大挙出場でこのクラスのレベルアップも著しい。そんな中で抜きんでてくる者は、誰か!?

国際B級 International B Class

10

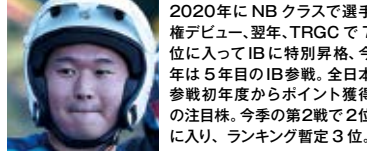
辻本 雄河
Yuga TSUJIMOTO / TRRS



2022年に3戦に出場、1勝した実績あり。久々の全日本参戦となるが、開幕2戦で2連勝と一躍チャンピオンの最有力候補に躍り出た。第4戦でも2位入賞し選手権では大きなリードを保っている。

24

岩間 隆介
Ryusuke IWAMA / Montesa



2020年にNBクラスで選手権デビュー、翌年、TRGCで7位に入ってIBに特別昇格、今年は5年目のIB参戦。全日本参戦初年度からポイント獲得の注目株。今季の第2戦で2位に入り、ランキング暫定3位。

51

楠 貴裕
Takahiro KUSUNOKI / TRRS



第2戦で初ポイント初表彰台となる3位入賞を果たし、第3戦で初優勝の快挙で、一躍暫定ランキング2位に躍り出た。2022年にはレディース全日本のチャンピオンアシスタントにもなっている。

出場ライダープロフィール 全日本トライアル選手権 第5戦 広島・三次灰塚大会

エントリーリスト 全日本トライアル選手権 第5戦 広島・三次灰塚大会

各ライダーのスタート時間は MFJ 公式トライアルファンサイト「TRJ」をご確認ください。https://mspro.jp/trj/



IAS 国際A級 スーパー 10セッション×2ラップ（持ち時間：4時間30分）+SS×2セッション

セッション 選手	所属	チーム	メーカー	モデル	アシスタント
2 氏川 政哉	ウジカワ セイヤ	三重	YAMAHA FACTORY RACING TEAM	YAMAHA TY-E3.0	田中 裕人
3 小川 毅士	オガワ ツヨシ	茨城	Wise Beta Racing	Beta SINCRO FACTORY 2T	木下 裕喜
4 野崎 史高	ノザキ フミタカ	埼玉	Team NOZAKI YAMALUBE YAMAHA	YAMAHA TY-E 2.2	関口 康太
5 柴田 暁	シバタ アキラ	大阪	TEAM TRRS & NILS oil	TRRS TRRS300RR injection	中谷 博彦
6 久岡 孝	ヒサオカ コウジ	岐阜	HRC クラブ MITANI	Honda RTL301RR	久岡 誠二
7 武田 呼人	タケダ ヨヒト	三重	TEAM MITANI Honda	Honda RTL301RR	加賀 国光
8 小川 友幸	オガワ トモユキ	三重	TEAM MITANI Honda	Honda RTL300R	田中 裕大
9 田中 善弘	タナカ ヨシヒロ	石川	HRC クラブばわあくらふと & HD 八尾	Honda RTL 301RR	松谷 実
10 武井 誠也	タケイ マサヤ	埼玉	FINE&SWM&BETA	Beta SINCRO FACTORY 2T	武井 明信
11 平田 貴裕	ヒラタ タカヒロ	愛知	SCORPA JAPAN & チームエクセル	SCORPA SCF-300	平田 篤
12 高橋 寛牙	タカハシ ヒロキ	神奈川	Sherco Japan	SHERCO STF	日下 達也

IA 国際A級 10セッション×2ラップ（持ち時間：5時間）

セッション 選手	所属	チーム	メーカー	モデル	アシスタント
2 黒山 太陽	クロヤマ タオ	兵庫	ShercoJapan	SHERCO 300ST	黒山 二郎
3 本多 元治	ホンダ モトハル	埼玉	Fine&OragaValleyTRIALS	Honda RTL301RR	
5 磯谷 玲	インガヤ アキラ	静岡	Beta TRproduct	Beta SINCRO	磯谷 豊
7 宮澤 陽斗	ミヤザワ ハルト	茨城	Team Wise	Beta SINCRO 2T	宮澤 富士夫
8 岡村 将敏	オカムラ マツシ	栃木	TEAM TOPDOGS	TRRS ONE RR	
10 平田 雅裕	ヒラタ マサヒロ	愛知	SCORPA JAPAN& チームエクセル	SCORPA SCF-300	
12 磯谷 郁	インガヤ カオル	静岡	BetaTRproduct	Beta SINCRO 2T	
13 永久保 圭	ナガクボ ケイ	静岡	TEAM BIGBOX BETA	Beta SINCRO FACTORY 2T	永久保 恭平
16 村田 慎示	ムラタ シンジ	三重	HRC クラブ MITANI	Honda RTL260R	川添 蒼太
17 尾藤 正則	ビトウ マサノリ	岡山	TEAM Beat&ZEON& アイエスツール	SHERCO ST-F300 FACTORY	
20 小椋 陽	オグラ ハル	岡山	team beat	Montesa COTA4RT	
22 鈴木 克敏	スズキ カツシ	神奈川	HRC クラブ関東 SW まるやま	Honda RTL301RR	
24 小谷 徹	オダニ テツ	京都	アズーロ	Honda RTL300	福野 慎吾
29 神長 勲摩	カミナガ エマ	栃木	Sherco JAPAN & TOP DOGS	SHERCO ST-F	神長 利行
32 小谷 一貴	コタニ カズキ	京都	アズーロ	Honda RTL301R	川崎 雅久
02 寺澤 迪志	テラザワ ユウシ	愛知	Team Beta TRproduct	Beta SINCRO FACTORY 2T 250	山森 篤志
04 小倉 功太郎	オグラ コウタロウ	兵庫	TEAM MITANI	Montesa COTA301RR	小倉 暁
05 大櫃 千明	オオビツ チアキ	静岡	知多ノヤマハトライアルクラブ	Montesa COTA301RR	今 健人
41 伊藤 紀夫	イトウ ノリオ	愛知	エクセル	GASGAS TXT GP300	
43 徳丸 新伍	トクマル シンゴ	宮崎	HRC クラブばわあくらふと & HD 八尾	Honda RTL301RR	
44 吉本 由輝	ヨシモト ユウキ	静岡	SCORPA JAPAN	SCORPA SC250	吉本 貴裕
46 佐伯 竜	サエキ リュウ	北海道	iRC with Beta 北海道	Beta SINCRO FACTORY 2T	
47 本田 隆史	ホンダ タカシ	大阪	team t2y	GASGAS TXT-PRO 21	本田 達也
48 波田 親男	ナミタ チカオ	兵庫	チーム ナミタ TRRS	TRRS ラガ 300RR	大西 弘晃
49 小沼 侑暉	オヌマ ユウキ	静岡	トライアルしずおか× IRC	SHERCO STF300	
51 河津 浩二	カワヅ コウジ	福岡	iRC 高倉トライアル	Beta Evo 2T 300	
52 辻 誠史	ツジ マサシ	大阪	テクノアート	Honda RTL260R	
53 中村 康平	ナカムラ コウヘイ	愛知	Club GEOMAX	Beta SINCRO 2T 300	
59 武中 裕輝	タケナカ ユウキ	岡山	club MWM	SHERCO ST300	
63 中野 禎彦	ナカノ ヨシヒコ	福岡	チーム二次元 & 高倉	Beta Evo 2T	
64 橋本 隆之	ハシモト タカユキ	福岡	バイパスホンダ八幡店&高倉トライアル	Honda RTL301RR	
65 寺岡 昭雄	テラオカ アキオ	岡山	岡山トライアルメイツ&梅木商会	Honda RTL300R	
66 杉木 直志	スギキ ナオシ	京都	チームアズーロ	SHERCO STF300	

LTR レディース 10セッション×2ラップ（持ち時間：5時間）

セッション 選手	所属	チーム	メーカー	モデル	アシスタント
1 中川 瑠菜	ナカガワ ルナ	愛知	Wise Beta Racing	Beta SINCRO 2T	中川 芳治
4 寺澤 心結	テラザワ ミユ	愛知	Team Beta TRproduct	Beta Evo 2T 125	寺澤 慎也
9 ソリス米寿江シカ	ソリス米寿江シカ	愛知	TEAM そらしど IRC	TRRS ONE RR	
11 泉 心愛莉	イズミ ミアリ	滋賀	team そらしど TKC	MECATECNO DRAGONFLY	泉 聖輝

IB 国際B級 10セッション×2ラップ（持ち時間：5時間）

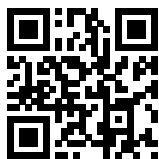
セッション 選手	所属	チーム	メーカー	モデル	アシスタント
1 林 大作	ハヤシ ダイサク	広島	ケニーズクラブ、セトウチベース	TRRS 300 ONE RR	野田 大作
2 西村 健志	ニシムラ タケシ	滋賀	トライアルクラブ Tom's	TRRS FI300	
3 青山 宏	アオヤマ ヒロシ	滋賀	チームアズーロ	Honda RTL260R	金本 豊
8 西 宏次	ニシ コウジ	山口	チーム周南	Montesa COTA301RR	
9 袋井 棕介	フクロイ リョウスケ	神奈川	IRC タイヤ	SHERCO STF250	袋井 賢悟
10 辻本 雄河	ツジモト ユウガ	大阪	マッチレーシングチーム with 長野車業	TRRS 300i	
11 中村 雄樹	ナカムラ ユウキ	愛知	知多トライアルクラブ	GASGAS TXT GP 300	
12 天田 昇平	アマダ ショウヘイ	岐阜	KAYABA RACING	TRRS TRRS RAGA RACING 300	
15 梶山 政登	カジヤマ マサト	大阪	TEAM OPMC	SHERCO st300	
16 甲斐 秀人	カイ シュウト	大分		Honda RTL300R	
18 河野 剛	コノノ ツヨシ	兵庫	TEAM ばわあくらふと	TRRS TR1 300	
19 上福浦 明男	カミフクウラ アキオ	広島	VARME TRYCROSS	Beta Evo 2T 125	
21 八木 修身	ヤギ オサミ	埼玉	さくら TSR メッツ不老天狗 SNTJ はいおけ	TRRS 300RR	
23 田中 聖志	タナカ キヨシ	東京	チーム羽生山	Beta Evo 2T	
24 岩間 隆介	イワマリ リュウスケ	静岡	HRC クラブ荘内	Honda RTL300R	岩間 雄次
27 三好 弘祐	ミヨシ ヒロスケ	京都	チームテクニカル	GASGAS TXT	
28 三好 一也	ミヨシ カズヤ	徳島	TEAM-PAZZO	TRRS TR 300	
30 米澤 健	ヨネザワ ケン	愛知		Honda RTL300R	
31 斉藤 隆志	サイトウ タカシ	東京	clubMWM	Honda RTL300R	
32 藤川 一夫	フジカワ カズオ	栃木	TEAM TOPDOGS	Beta Evo 2T	
35 奥田 欽哉	オオクダ キンヤ	三重	TEAM MITANI	TRRS ONE GOLD 300	
38 中村 和之	ナカムラ カズキ	兵庫	爆烈おやじ	Beta Evo 2T FACTORY	
41 前田 将樹	マエダ マサキ	静岡	ヤマハ発動機トライアルクラブ	YAMAHA TYS250Fi	小川 圭
44 寺田 智恵子	テラダ チエコ	愛知		TRRS RR	井嶋 一郎
45 寺田 太郎	テラダ タロウ	愛知		TRRS RR	
46 杉浦 守	スギウラ マモル	愛知	チーム エクセル	TRRS TRS TR1 300	
49 富田 正義	トミダ マサヨシ	三重	HRC クラブ MITANI	Honda RTL260F	
50 佐々木 秀幸	ササキ ヒデユキ	宮城	小川部	TRRS ONE	
51 楠 貴裕	クスノキ タカヒロ	愛知	Club GEOMAX	Honda RTL260R	福本 徹
53 宮嶋 清次	ミヤジマ キヨツギ	静岡	club MWM	Honda RTL300R	
55 辰己 直	タツミ ナオ	和歌山	TAKESHI 軍団	TRRS ONE RR	飯田 修
61 古市 右京	フルイチ ウキョウ	埼玉	HRC クラブ MITANI	Honda RTL260R	
62 関田 志毅	セキタ シキ	静岡	TEAM BIGBOX	Beta Evo 2T 300	関田 智昭
67 藤見 和志	フジミ カズシ	徳島	TEAM-PAZZO	Honda RTL260R	
68 岩井 睦	イワイ ムツミ	神奈川	嵐山不老天狗はいオケ	TRRS ONE-RR	
69 高山 和広	タカヤマ カズヒロ	茨城	TOP DOGS	TRRS one	
72 鈴木 颯馬	スズキ フウマ	埼玉	team KOMA	Beta Evo 2T	鈴木 祐
73 市村 謙太郎	イチムラ ケンタロウ	栃木	Bergbach/ 嵐山不老天狗	Beta Evo 2T	

エントリーリスト 全日本トライアル選手権 第5戦 広島・三次灰塚大会

IB		国際B級		10セッション×2ラップ（持ち時間：5時間）			
セッション	選手	所属	チーム	メーカー	モデル	アシスタント	
78	熊倉 隆広	クマクラ タカヒロ	兵庫	TEAM TOOL BOX	TRRS	ONE RR	
81	百瀬 伸一	モモセ シンイチ	東京	Team Oragavalley Trials SUR	Beta	SINCRO 2T	
83	鈴木 大空翔	スズキ タクト	鳥取	ヒロスポーツクラブ	Honda	RTL301RR	
86	長谷部 佑弥	ハセベ ユウヤ	埼玉	Honda ブルーヘルメット MSC	Honda	RTL300R	
87	岩見 秀一	イワミ シュウイチ	兵庫	チームナミタ & ウインド	GASGAS	TXTー GP	
92	小淵 颯輝	コブチ サツキ	静岡	ヤマハ発動機トライアルクラブ	EM	Epure Race	
93	荒生 和人	アラオ カスト	山形	HRCクラブ荘内 & ホンダドリーム酒田・秋田	Honda	RTL300R	
96	五十嵐 大樹	イカラシダイキ	広島		Beta	Evo 2T	
100	水野 大冊	ミズノ ダイサク	茨城	Buddy Trial Club	Vertigo	Nitro	
103	佐藤 定光	サトウサダミツ	宮崎		SHERCO	st3.0	
119	笹原 智紘	ササハラ トモヒロ	長崎	TEAM RIDE MAGIC	TRRS	One RR	
120	浦中 信宏	ウラナカ ノブヒロ	熊本	植木トライアルクラブ	Beta	Evo 2T	
123	大田 幸成	オオタ コウセイ	鹿児島	KOレーシング	TRRS	ONERR300	堀 浩
124	今田 浩司	イマダ コウジ	山口	防府トライアルクラブ	Honda	RTL4F	
125	塚崎 隼也	ツカザキ ジュンヤ	長崎	Team Ride Magic	Honda	RTL	
126	三野 敏治	ミノ トシハル	香川	BP 香川	Beta	Evo 2T	
127	松本 将和	マツモト ノブカズ	広島	TEAM TMUH	Montesa	COTA4RT	
128	大山 和之	オオヤマ カズユキ	高知	治国谷トライアルクラブ & M ファクトリー	SCORPA	300 FACTORY	
129	武藤 翔吾	ムトウ ショウゴ	和歌山	テクノアート	Honda	RTL300	
130	田中 良浩	タナカ ヨシヒロ	熊本	KUDODA	Honda	RTL260R	
131	益川 康典	マスカワヤスノリ	広島	野呂山麓友の会	TRRS	RR-E 300	
132	工 義彦	タクミ ヨシヒコ	広島		Honda	RTL300R	

OPT オープントロフィー		10セッション×2ラップ（持ち時間：5時間）				
1	喜岡 修	キオカ オサム	兵庫	チームウインド温泉は楽しクラブ	Honda	RTL300

SENA



トライアルのルール RULES

減点0(クリーン)……1分以内にセッション（採点区間）内を足を着くことなく通過
減点1 ……1分以内に足つき（腕や頭も同様）1回のみでセッションを通過
減点2 ……1分以内に足つき（腕や頭も同様）2回のみでセッションを通過
減点3 ……1分以内に足つき（腕や頭も同様）3回以上でセッションを通過
減点5 ……落車、セッション離脱、足つき後退、ループ、セッション走破に1分以上かかったなど失敗"した場合

加算ペナルティ……ライダーまたはアシスタントが故意にセッション地形を変化させた場合
持ち時間 ……スタートからゴールまで、各ライダー同じ持ち時間。1分超過ごと1点減点
合計減点数 ……各クラスの全セッションの減点数の最も少ない者より高い順位がつけられる
同点の順位決定 ……クリーン数が多い者が上位。以下、1点、2点の数が多いほうが上位
すべて同じなら競技時間が短い者が上位

アシスタント……コース上では唯一マシンに触れることができる
ライダーのトライ時にセッションに入り、失敗の際の手助けが可能

その他の失敗 ……マグネットキルスイッチが外れた、通過ゲートの誤りなど

①～⑪
セッション（採点区間）

② レディース /IB/OTのみ
⑥ IAS/IAのみ

10セッション×2ラップ
持ち時間
IAS ……4時間30分
IA/LTR/IB/OT ……5時間

スタート時間

OPT オープントロフィー	7:20 ～
IB 国際B級	7:21 ～
LTR レディース	8:00 ～
IA 国際A級	8:05 ～
IAS 国際A級スーパー	9:35 ～

SS1 SS2
SS（スペシャル・セッション）
IAS 国際A級スーパー 14:30～
上位10名のみ

- **SS1** よりトライ（1回のみ）
- 全員のトライを終えたら **SS2** へ移動します
- SS2が終わるとIASの競技結果が出ます

2026年ルールはスタンダード基準に

2025年、2026年と、MFJトライアルルールは変革を受けています。ライダーの技術をしっかり楽しむために、規則の変更を知っておきましょう。

足をつかないバックができるようになった昨年の変更はそのままですが、セッション内をぐるぐるループするのは5点対象となりました。世界選手権など、トライアルの標準的ルールに戻った、といえるかもしれません。

自分のゲート（IASなら赤地に黄文字、など）以外を通ると5点になるのもそのまま。ラインを乱した場合など、通るべきラインを見きわめながら進路を確認していくむずかしさが出てきます。

ゲートの種類や位置が確認できれば、観戦の興味も深まることでしょう。トライアルルールは多岐にわたり複雑ですが、それだけに、理解を深めれば、見えるものがちがってくるのです。

- 各セッションに設置されている、黄色いテープの外側でご観戦ください
- ゴミは各自お持ち帰りください

NEW
MFJ 公認
申請中!

AIROH TRR II

TRR II COLOR
¥47,300 (税込)

Black Matt Dark Gray Gloss White Gloss

TRR II JUPITER
¥52,800 (税込)

Blue /Yellow Gloss Orange Matt Red Gloss

TRR II HUNT
¥52,800 (税込)

Blue /Red Gloss Yellow Matt

サイズ:XS・S・M・L・XL・XXL
材質:複合カーボン
重量:970g±50g

マッスル4 テーパーハンドルバー

ポジションはスタンダードにこだわりました。誰にも好まれるポジションで安心した操作ができます。

NEW

¥14,000 (税込)

サイズ:4.5 インチ
材質:A7075 超ジュラルミン
幅:810 ミリ

マスターシリンダー / グリップ
取付部寸法:240 ミリ

TRAPPER IV
Technology is professional and gives you POWER and SPEED

みんなの声で帰ってきた!!
待望の4代目復活!!

¥99,000 (税込)

※スタンドは付属しておりません→

POWER CRAFT **ぱわあくらふと**

〒574-0025 大阪府大東市御供田3-17-37
TEL 072-872-2141 FAX 072-870-5236
E-mail info@power-craft.co.jp
www.power-craft.co.jp

HRC
HONDA RACING
SERVICE SHOP

当店は、HRC (株式会社ホンダ・レーシング) から認定を受けた、HRC 製品正規取扱店 (サービスショップ) です。
当店で、サービスショップだけが可能なHRC 二輪製品の販売からメンテナンスに加え、各種HRC パーツやHRC 補修パーツの販売まで、HRC の正規取扱店として皆様のレーシングシーンを強力にサポートします。

携帯サイト

SHERCO 2026 ST FACTORY / ST-E FACTORY

2026 シェルコ ST FACTORY シリーズが大きく進化しました。セルスターター仕様 ST-E (250、300 のみ) と、キック始動のみの ST を選べます。改良されたクランクシャフト、デコンプシリンダーヘッドなど、エンジン細部の改良とインジェクションの新しいマッピングにより、柔軟性のあるレスポンスとグリップ感を生み出しています。ライディングの妨げにならないスリム・コンパクトなスターターモーターの配置と形状、コンパクトなバッテリー。そしてイグニッションコイル、ワイヤーハーネス、オルタネーターなど改良点は多数。始動性を向上するインジェクションウェイクアップボタンを新装備。

MY2026 TRIAL ST FACTORY ST-E FACTORY

ST FACTORY 125 ¥1,485,000 税込
ST FACTORY 250 ¥1,485,000 税込
ST FACTORY 300 ¥1,485,000 税込
ST-E FACTORY 250 ¥1,540,000 税込
ST-E FACTORY 300 ¥1,540,000 税込
※配送費用別途 ¥22,000 (税込) が必要になります。

SHERCO TY125 ADVENTURE

TY125 ADVENTURE
¥880,000 税込
※配送費用別途 ¥22,000 (税込) が必要になります。

4 ストローク 125cc / セルスターター / エンジンを包み込むようにプレスされたアンダーガード / ST と同じスイングアームとリンクシステム / MIKUNI 負圧キャブレター / 油圧クラッチ / チューブタイプのリアホイール / 10 丁のトライアル用スプロケット付属 / 公道走行可・保安部品付き・MFJ 公認車両。
※写真のタンク容量 4.7L の Long Ride Kit (シート付 4.7L 容量タンク / 税込 ¥72,600) は別売になります。

SHERCO JAPAN 〒240-0113 神奈川県三浦郡葉山町長柄 512-1 TEL 046-875-0267 FAX 046-876-5020 <https://www.shercojapan.jp>

トリアルバイクの基礎知識

トリアルバイクのことどこまで知ってますか?

サスペンションは独特の仕様

サスペンションは、トライアルの鍵を握っています。特にリヤサスは、タイヤのグリップ力にも影響あり、様々なアクションのきっかけにも、サスペンション特性は大きく働きます。その特性は、ライダーの好みによっても千差万別です。

タイヤのブロックがキャラメルみたい

オフロードタイヤらしいブロックパターンだけど、規則で環境にやさしいようにパターンは決まっています。ゴム質はきわめてやわらかく地形を包み込み、空気圧は 30KPa 前後と低圧にセットします。

シートがない? 立って乗るバイク?

ライディングポジションを自由にとれるよう、足つき性をよくするよう、トリアルマシンにはシートがないものが多いです。軽量化にも一役買っていますね。

スリムで軽そう! パワーはあるの?

車重は70kg 前後。最高速を出すためのパワーはありませんが、静止状態から人の背丈ほどの大岩に飛びつく瞬発力を発揮します。リヤブレーキペダルはつつましく引っ込み、チェンジペダルはフットベグから大きく離れていて、ライディング中、意図せず触れない仕様です。スタンドは、チェーンと干渉しない側についていますが、ついていないことも多いです。

エンジンとモーターどっちでもいいの?

トリアルは、原動機の制限がほとんどなし。500cc でも 250cc でも、モーターでも同じ土俵で勝負です。全日本選手権では 250cc ~ 300cc の水冷エンジンが多数派です。

エンジン下にプレートがある

原動機を衝撃から守るためのガードですが、岩の上に乗せて安定させる意味合いもあるので、スキッドプレートと呼ばれます。

YAMAHA TY-E 3.0 日本

ヤマハが全精力を挙げて開発した電動マシン。3.0 は第 3 世代で、機械式クラッチとトランスミッションを装備している。ミッションのない、それまでの 2.2 とは、すべて別物だという。とはいえ 2.2 も、野崎史高が好結果を出している。最新の 3.0 には黒山健一 (負傷休場中) と氏川政哉が乗る。

最新トリアルバイクカタログ

2005 年の登場以来、基本は変えず、着実な進歩を刻んでいる名車。モンテッサは別ブランドで、中身は同一。これとは別に、武田呼人と小川友幸が乗るマシンは世界チャンピオンのトニー・ボウらが乗るファクトリーマシン。ツインプラグ仕様で、高嶺の花の貴重なマシンになる。

Honda RTL 日本 スペイン

Beta SINCRO 2T イタリア

モンテッサと並ぶ老舗トリアルメーカー。世界、全日本とも多くのチャンピオンを輩出している。見た目が同じだが、バリエーションは豊富に揃う。

TRRS ONE RR スペイン

J・タレスが興した新鋭メーカーで、いち早くセルスターを採用しシェアを広げた。伝統的 2 ストエンジンに剛性の高いアルミフレームの組み合わせる。

Sherco ST factory フランス

創業して四半世紀をすぎ、フューエルインジェクションを装備してさらなるステップに進む。スコルバはシェルコが作る別ブランドで、中身は同一。

GASGAS TXT GP スペイン

1974 年創業でトリアルでは老舗。J・タレス、A・ラガのタイトルで、性能には定評あり。現在は KTM のブランドとしてトリアルの伝統を守る。

Vertigo NITRO WORKS スペイン

フューエルインジェクション (FI)、エンジン上面、エアクリナー、トラスフレームの意欲的構成。2 スト FI を熟成させたのはこのマシンだった。

Erectric Motion フランス

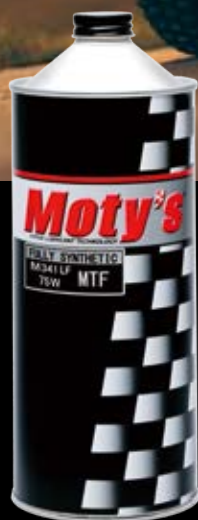
元スコルバ社長が興した電動メーカー。写真はトランスミッション装備の三世代目 FACTORe。小回りの利いた開発が小さなメーカーの大きな強みだ。



Shinya Fujinara



Erika Kodama



M341LF 75W (PRO仕様)

トライアル車・モトクロス等のミッションに使用することを目的とした製品で、低粘度MTFのM341 75Wをベースに、さらに低粘度化を促進し、クッション性等の付与を目的として採用したベースストックTRB0973をあえて除き、ミッション操作における動きをさらにリアに反応すべく設計されています。これらの特性は究極のトライアル車両におけるクラッチ操作においてもアドバンテージをもたらしています。

M342 75W (小玉絵里加モデル)

M341LFの最大の特性である、操作におけるリアな反応性を穏やかにし、操作性を重視した製品です。

Moty's
HYPER LUBRICANT TECHNOLOGY

株式会社 トライボジャパン

〒116-0014 東京都荒川区東日暮里 2-25-4

■TEL: 03-3806-8277 ■営業時間: 10:00~17:00 ■定休日: 土曜・日曜・祝祭日

ひとつ一つのタイヤに 情熱と誇りを込めて。

ジョン・ボイド・ダンロップが実用化した

空気入りタイヤの誕生から130年以上、

オンロードやオフロード

ミニバイクからリッターバイクまで、

あらゆるバイクの足元を

支え続けてきたDUNLOP。

先端技術への挑戦と

厳しい品質管理のもとに

600を超えるサイズラインアップを保有。

タイヤの限界性能が問われる

スーパースポーツに限らず、

走りの質感にこだわるツーリングから

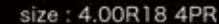
日常的なシティユースまで。

これからも情熱と誇りを込めて

ライダーの走りを支え続けます。



<https://dunlop-motorcycletyres.com/>





CRF

250L / 250RALLY



Photo: CRF250L

Pro Honda

empower your passion.

Pro Honda オイル&ケミカル

Honda純正オイル&ケミカル「Pro Honda」
環境への配慮とHonda二輪車のエンジン性能を
最大限に引き出す最適なバランスの両立を目指し
開発されたエンジンオイルをはじめ、Honda
二輪車のメンテナンスに適したオイル・ケミカル
をラインアップ。



詳細はPro Honda公式webサイトをご覧ください。▶

